

表彰見多識多な「消防防本部で開かれた。最優秀賞には「海の街だからこそ」と題して、市内の消防業務に潜水士の必要性を訴えた片山琴哩さん(19)―消防士―が選ばれた。

発表会は10月31日開

最優秀賞に選ばれた片山琴哩さん(右)と優秀賞の池田賢未さん



「消防防本部で開かれた。最優秀賞には「海の街だからこそ」と題して、市内の消防業務に潜水士の必要性を訴えた片山琴哩さん(19)―消防士―が選ばれた。発表会は10月31日開

酪農ヘルパーに技能実習生

酪農ヘルパーとして派遣された牧場で業務に励むベトナム人技能実習生

【中標津】根室管内で酪農ヘルパー事業を展開する「ファム・エイ」(中標津町)が、外国人の技能実習生を初めて採用した。ベトナムの3人で、牧場の力になっている。酪農ヘルパーは派遣先ごとに作業内容や機器操作の方法などが異なるため、高い業務能力やコミュニケーション能力が必要とされる。3人は業務のスキルアップと日本語の上達に懸命だ。

北海道酪農ヘルパー事業推進協議会によると、ヘルパー会社の実習生採用は「全道的にもまだ多くない」という。

同社はヘルパー確保に向け、全国各地の説明会に参加するなどしてきたが、従事者を容易に見つけられないのが実情だった。今後の人手不足を予測し、外国人材の採用を検討してきた。そうした中、町の「外国人財誘致推進事業」でつながりができたベトナムの送り出し機関と同社がマッチングし、3人の技能実習生を7月から受け入れた。

3人は母国の実家が農家を営むなど農業と関わりがあり、酪農を学びたいとの志を持って来日した。日本

中標津の派遣会社 ベトナム人3人採用

高い業務能力必要／日本語上達に懸命



人の先輩ヘルパーと牧場を訪問し、仕事を覚えている最中だ。同社も酪農の仕事で使う用語をまとめた単語帳を作るなど工夫し、技術力向上を後押しする。

3カ月ほど経過した3人は「初めて行く牧場での仕事に難しい」と話すが、派遣先の牧場が仕事や日本語の教育に協力してくれていることもあり、楽しく働いているという。ド・コック

・フンさん(20)は「酪農の仕事をもっと学び、日本で

(野口今日子)

小説

別海の

【別海】町や別海ゆかり文芸誌「朝霧町内の書店なれている。道



北方領土出題方法

「Nサ

【根室】根室校生が北方領土組む根室振興事業「Nサミのオンライン」のクイズを作った。本年度は春夏2回の3年生が考え出題方法を引き継いで話10月23日に内5校の1年生10人の12た。春と夏のした2年生が説明。クイズフォンなどによって専用ホ